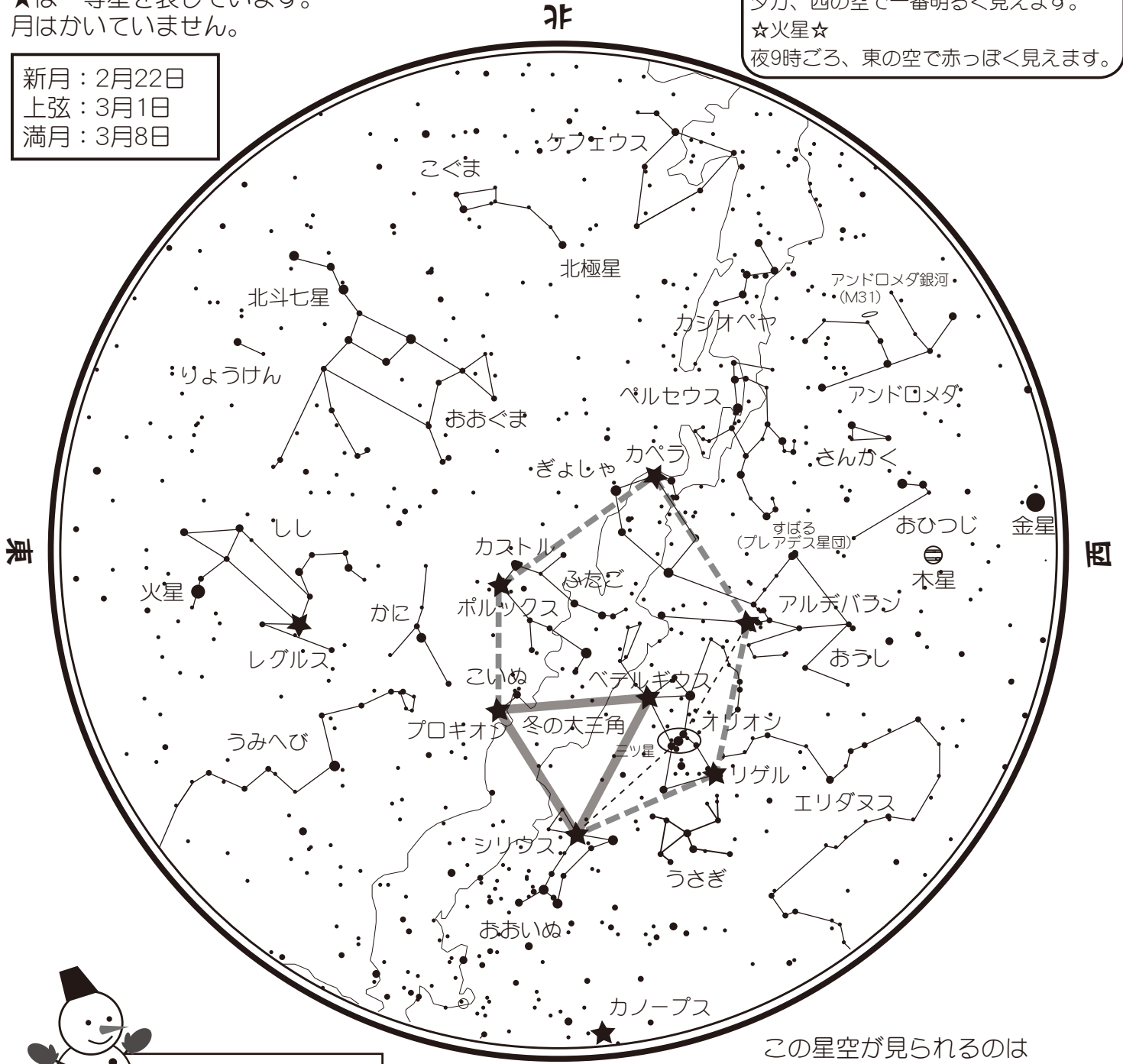


★ 姫路で見る2月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下に下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

- ☆木星☆
夕方、西の空で明るく見えます。
- ☆金星☆
夕方、西の空で一番明るく見えます。
- ☆火星☆
夜9時ごろ、東の空で赤っぽく見えます。

新月：2月22日
上弦：3月1日
満月：3月8日



2012 WINTER

この星空が見られるのは
2012年2月20日午後9時頃
2012年3月5日午後8時頃です。

この時期、星空は少しずつ冬から春へと移り変わります。明るい星を頼りに探してみましよう。
南の空に見える「冬の太三角」は、オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウスを線で結ぶとできあがります。オリオン座はギリシャ神話に登場する狩人の名前で、こいぬ座とおおいぬ座はオリオンのお供の犬です。二匹の犬をつれたオリオンが、両腕を振り上げて戦っているのは、おうし座です。おうしの肩の部分に輝く星団「すばる」は目の良い方で5~7個の星を見ることができます。
天頂付近に見えるふたご座は、銀色の二等星カストルと金色の一等星ポルクスが仲良く並んで輝きます。近くには五角形と一等星カペラが目じるしのぎよしゃ座が見えます。
東の空にはかに座やしし座、おおぐま座などの春の星座が見えるようになりました。「北斗七星」や一等星のレグルスを目じるしに探してみましよう。また、今年はしし座に火星が見えます。3月6日地球に最接近しますが、今回は大きさがあまり変わらない小接近になります。